

北海道産業振興条例(通称)点検の論点について

1 社会経済情勢の変化(検討の視点)

(1)これまでの課題

- ・ 人口減少下での人材育成・人材確保、省力化、生産性向上
- ・ 付加価値の向上、販路拡大、域内循環の促進

(2)新たな課題

ア 新型コロナウイルス感染症

- ・ サプライチェーンの再構築への対応
- ・ 非対面型ビジネスモデルへの変革や新産業モデルの創出

イ カーボンニュートラルの実現

- ・ 再生エネルギーを活用した企業誘致
- ・ 脱炭素型ビジネススタイルへの転換、研究支援や専門人材の育成

ウ デジタルトランスフォーメーション

- ・ IT 産業の企業誘致
- ・ IT リテラシーやリカレント教育などのデジタル
デバイス対策の推進
- ・ 道内 IT 企業の競争力強化に向けたモデルケース創出

エ 新しい働き方への対応

- ・ デジタル技術を活用した柔軟な働き方やビジネスモデルの変化
- ・ 地方への新たな人の流れの促進

オ 大規模事業所の再編への対応

- ・ 雇用の場の確保
- ・ 地域経済の活力の向上

カ 新しい動きへの対応

- ・ 宇宙産業など新しいビジネスモデルへの対応
- ・ グリーン×デジタルなど、相乗効果が期待される取組の推進

2 1を踏まえた見直しについて

条例や施行規則を見直すべき状況の変化はあるか

- ・ 条例に掲げる基本的施策は、現在の社会経済情勢においても、有効かつ適切なものとなっているか。
- ・ 現在の社会経済情勢において、新たに追加すべき助成措置はないか。
- ・ 効果が上がっていない等の理由で、見直すべき助成措置はないか。